

# 社会資本整備審議会 道路分科会

## 第28回近畿地方小委員会

### 議事概要

1. 日時 令和2年6月29日(月) 10:00~11:00
2. 場所 近畿地方整備局 第1別館2階大会議室
3. 出席者

#### [委員]

① 宇野 <sup>うの</sup>	のぶひろ	京都大学大学院工学研究科教授
浦尾 <sup>うらお</sup>	たか子 <sup>こ</sup>	京南倉庫株式会社 常務取締役
川本 <sup>かわもと</sup>	義海 <sup>よしみ</sup>	福井大学 学術研究院工学系部門 教授
小林 <sup>こばやし</sup>	潔司 <sup>きよし</sup>	京都大学 名誉教授/京都大学経営管理大学院 特任教授
玉岡 <sup>たまおか</sup>	かおる	作家/大阪芸術大学大学院 教授/兵庫県教育委員
榎村 <sup>えんむら</sup>	久子 <sup>ひさこ</sup>	京都女子大学 宗教/文化研究所 客員研究員
宗田 <sup>むねた</sup>	好史 <sup>よしふみ</sup>	京都府立大学文学部教授
◎山下 <sup>やました</sup>	淳 <sup>あつし</sup>	関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

#### 4. 議事

- (1) 計画段階評価について  
播磨臨海地域道路

#### (2) 議事概要

##### <委員からの主な意見>

##### ■計画段階評価について

- ・対策方針(案)について、案1-1内陸・加古川ルートが妥当であると審議された。
- ・内陸・加古川ルートについて、「製造業の活性化、投資促進」「交通事故の削減」「災害に強いまちづくり」における評価が他の案に比べて有効であるため妥当である。
- ・安心・安全に配慮した道路を検討すべき。
- ・バイパス整備となることから、関係機関と協力して現道との接続位置の検討を進めるべき。
- ・新ルートと既存の道路をどのように活用していくかを地元自治体と連携し、広い視点で検討すべき。
- ・意見聴取において、上記項目以外に重視すべきとの意見が多かった「生活環境への影響」や「自然環境への影響」について、環境影響評価において適切に対応すべき。
- ・同様に重視すべきとの意見が多かった「支障となる家屋及び工場等」については、今後の詳細なルート・構造の検討において、沿線地域に対し、丁寧に説明しながら進めるべき。

以上